

基本目標 6 地域資源を生かした活力あるまちをつくるために

施策 19 芸術・文化の振興

目的

〈対象〉市民

〈意図〉芸術・文化に触れる機会が提供され、芸術・文化活動が活発になる

施策の方向

○市民が芸術・文化を日常的に身近なものとして楽しみ、また、自らいきいきと芸術・文化活動を行えるような環境を整備することにより、文化の香り高い、市民文化をはぐくむまちづくりを進めます。

施策の達成状況

まちづくり指標	基準値	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	目標値
1 年間で芸術文化を鑑賞、または自ら芸術文化活動を行った市民のうち、市内公共施設を利用した市民の割合	52.3% (H26)	57.8%	52.3%	53.3%	51.6%	49.9%	60.0% (H30)
文化会館たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場の施設利用率（上段：ホール系・下段：会議室系）	81.0% 69.6% (H25)	81.0% 69.6%	82.5% 71.8%	84.8% 79.1%	83.7% 82.2%	- -	82.0% 70.0% (H30)

その他

- 「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言」（平成 27 年度）
- 東京 2020 大会の開催を契機とした「障害者アート展」の開催（平成 29 年度）
- 公益財団法人文化・コミュニティ振興財団と連携した「調布映画祭」や「調布国際音楽祭」などの展開など

■ 現状と課題

- 調布市では、文化会館たづくりやグリーンホール、せんがわ劇場など、市内各地域で映画、演劇、音楽など多彩な芸術・文化事業を実施しています。映画・映像の分野では、「調布映画祭」（平成 30 年度から「映画のまち調布シネマフェスティバル」）をはじめ、映画・映像に関する様々な催しを開催するなど、「映画のまち調布」の推進に取り組んでいます。また、音楽・演劇の分野では、世界的に活躍する著名なアーティストを多数輩出している桐朋学園や市内在住の著名な音楽家が率いる演奏団体と連携した取組など、市民が芸術・文化にふれる機会の確保に努めています。
- 東京 2020 大会の開催を契機として、障害者の芸術文化の発展につなげるため、市内の福祉作業所に通う方を中心に作成した絵画・造形物等の展示を行う「障害者アート展」を平成 29 年度に開催しました。
- より多くの市民が優れた芸術・文化に触れ、気軽に芸術・文化活動に取り組むことができるよう、引き続き、文化施設以外の公共的な空間や民間施設の活用も含め、活動の場や発表の機会を適切に確保するとともに、芸術・文化を通じた市民や団体の交流を促進していく必要があります。
- 市民の自主的な芸術・文化活動の拠点となる文化会館たづくりとグリーンホールの両施設における施設の老朽化の問題に対して、調布駅周辺の大規模公共施設の検討の中で、今後の在り方・方向性について検討を進める必要があります。

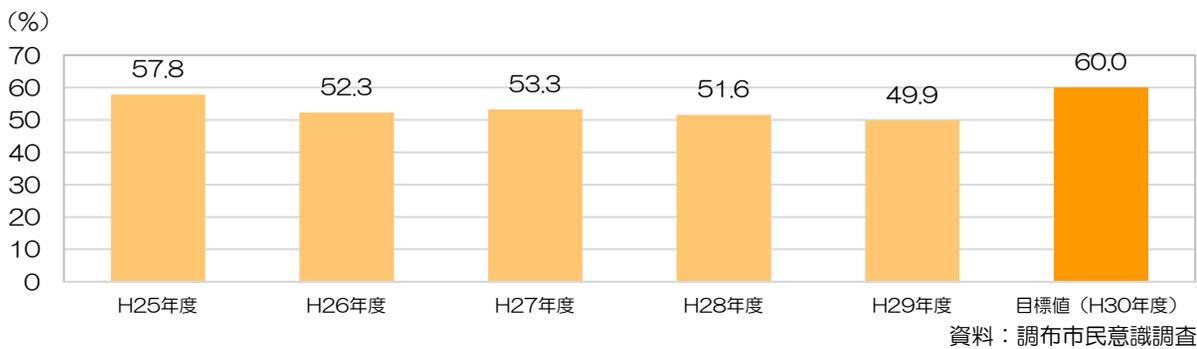
■ 次期基本計画策定に向けた主なポイント

- 東京 2020 大会の開催を契機に、だれもが、それぞれに応じた活動を通じて、豊かな芸術文化を育むまちづくりに取り組んでいけるまちとして、文化プログラムと連動した取組を推進するとともに、地域ゆかりの文化の発信に努める必要があります。また、芸術・文化の推進に当たっては、観光・まちづくり・国際交流・福祉・教育・産業などとの連携を図っていく必要があります。
- 市制施行 60 周年記念式典の際に行った「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言」の実現に向けた取組を推進していく必要があります。また、芸術文化の推進に当たっては、観光・まちづくり・国際交流・福祉・教育・産業などとの連携を図っていく必要があります。
- せんがわ劇場の今後の管理運営について、10 周年という節目を迎えるため、より良い劇場経営を目指し、指定管理者制度の活用を含む今後の管理運営を検討する必要があります。
- グリーンホールの老朽化対策については、調布駅周辺の大規模公共施設の検討の中で、今後の在り方を含めて検討を進める必要があります。

19-1 市民の芸術・文化活動の促進

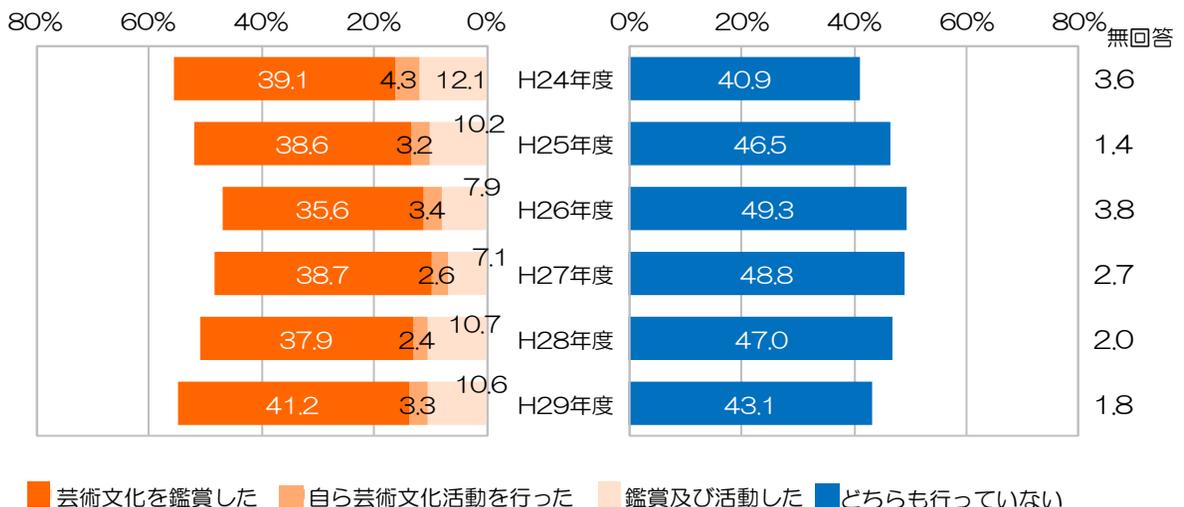
【まちづくり指標】1 年間で芸術文化を鑑賞、または自ら芸術文化活動を行った市民のうち、市内公共施設を利用した市民の割合

平成 27 年度から年々減少しており、平成 29 年度は 50% を下回っています



◆1 年間で市内外を問わず、文化施設等で芸術文化の鑑賞や、自ら芸術文化活動を行った市民の割合

鑑賞及び活動を行った市民の割合は平成 26 年度以降増加傾向にあります



◆「グリーンホール・文化会館たづくり」「せんがわ劇場」における自主事業への延べ参加者数

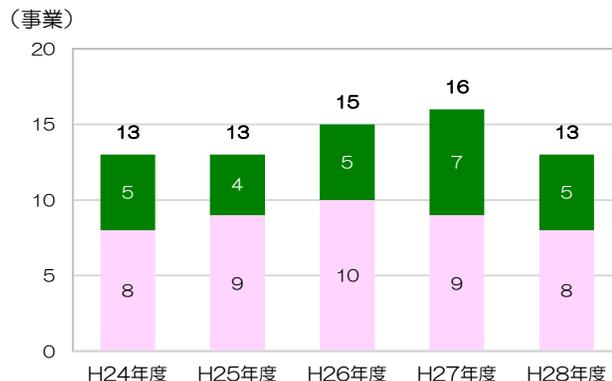
平成 26 年度以降、自主事業への延べ参加者数は増加しています



■グリーンホール・たづくり ■せんがわ劇場
資料：文化振興課

◆文化振興事業数の推移

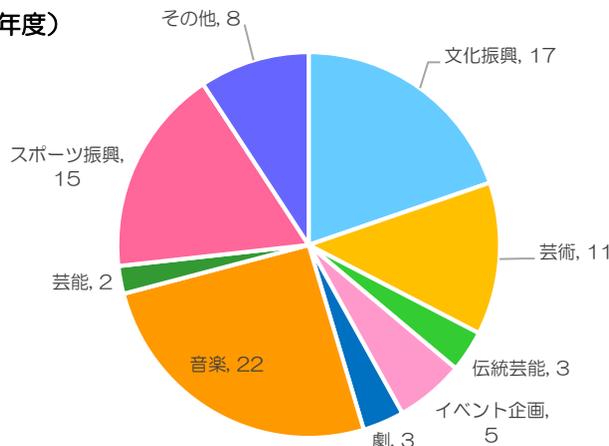
文化振興事業数は、ほぼ横ばいとなっています



■姉妹都市交流事業 ■平和祈念事業
資料：調布市事務報告書（文化振興課）

◆市内の芸術・文化関連団体数（平成 29 年度）

86 の芸術・文化関連団体が活動を行っており、音楽関連の団体が最も多くなっています

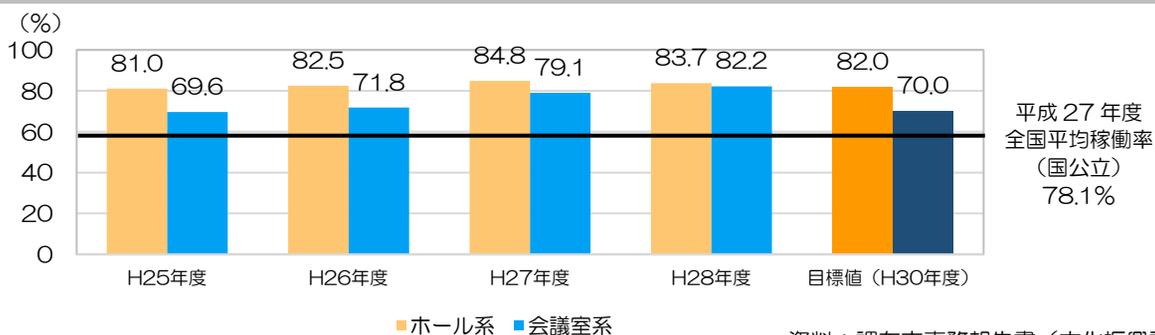


資料：平成 29・30 年度市民活動団体リスト

19-2 芸術・文化施設の整備・運営

【まちづくり指標】文化会館たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場の施設利用率

ホール系は平成 27 年度まで増加し平成 28 年度に減少に転じていますが、会議室系の利用率は年々増加しています
平成 28 年度にはホール系、会議室系ともに 8 割を超えており、どちらも目標値及び平成 27 年度の全国稼働率を上回っています



資料：調布市事務報告書（文化振興課）

※全国平均稼働率は、公益社団法人全国公立文化施設協会「平成 28 年度 劇場、音楽堂等の活動状況に関する調査報告書」より引用

◆文化会館等の設置状況

近隣の全ての自治体が 400 席以上のホールを有しており、調布市グリーンホールの大ホールは近隣自治体の中で 2 番目に座席数の多いホールとなっています

自治体名	施設名	ホール・座席数
調布市	調布市せんがわ劇場	劇場ホール 121 席
	調布市グリーンホール	大ホール 1,307 席, 小ホール 300 席
武蔵野市	調布市文化会館たづくり	くすのきホール 506 席, むらさきホール 270 席
	武蔵野市市民文化会館	大ホール 1,256 席, 小ホール 429 席
	武蔵野市芸能劇場	小劇場 154 席
	武蔵野公会堂	ホール 350 席
	武蔵野スイングホール	スイングホール 180 席
三鷹市	吉祥寺シアター	劇場 189 席 (最大定員 239 席)
	三鷹市芸術文化センター	風のホール 625 席, 星のホール 250 席
	三鷹市公会堂	光のホール 719 席
府中市	府中の森芸術劇場	どりーむホール 2,027 席, ウィーンホール 522 席, ふるさとホール 520 席
	ルミエール府中 (市民会館)	コンベンションホール飛鳥 700 席
	府中グリーンプラザ	けやきホール 494 席 (平成 30 年 3 月 31 日 (土) をもって閉館)
小金井市	小金井宮地楽器ホール	大ホール 578 席, 小ホール 150 席
狛江市	エコルマホール (狛江市民ホール)	ホール 728 席
立川市	たましん RISURU ホール (立川市市民会館)	大ホール 1,201 席, 小ホール 246 席

資料：各市ホームページ

◆施設別の施設利用状況 (平成 28 年度)

調布市文化会館たづくり (諸室系) を除き、利用率は 80% を超えています

施設名	稼働日	利用率	利用件数	利用人数
調布市せんがわ劇場 (ホール)	347	87	908	41,511
調布市せんがわ劇場 (リハーサル室)	347	94	978	5,573
グリーンホール	308	84	1,547	189,091
調布市文化会館たづくり (ホール系)	331	82	4,777	1,867,091
調布市文化会館たづくり (諸室系)	331	63	23,758	

※調布市せんがわ劇場 (ホール) の利用人数は観客を含む

※調布市せんがわ劇場 (リハーサル室) の利用人数は指定事業を除く

※調布市文化会館たづくりの利用人数は個人学習室及び図書館利用人数を含む

資料：調布市事務報告書 (文化振興課), 調布市せんがわ劇場ホームページ

多様な主体との連携事例

地域連携事業の実施

舞台芸術に親しむ場を広く提供することにより、地域のにぎわいと活性化に貢献することを目的に、桐朋学園芸術短期大学及び白百合女子大学とそれぞれ共催し、劇場を活用した事業を実施しました。白百合女子大学は、平成 29 年 11 月 30 日から 12 月 1 日まで「白百合お楽しみ劇場」、「能楽研究会発表会公演」を実施しました。桐朋学園芸術短期大学は、平成 29 年 1 月 26 日から 28 日まで「港町ちぎれ雲」(全 5 回) を実施しました。

【所管課】

生活文化スポーツ部 文化振興課 (せんがわ劇場)

【協働のパートナー】

桐朋学園芸術短期大学, 白百合女子大学



<白百合お楽しみ劇場のポスター>